

近畿地方小委員会の概要と意見

□開催日時

令和5年3月7日（火）11:00～12:00

□場所

近畿地方整備局 大手前合同庁舎 6階 道路占用調整室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
いづか あつし 飯塚 敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授	○
うの のぶひろ 宇野 伸宏	京都大学 大学院工学研究科 教授	○
おがわ けいいち 小川 圭一	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授	○
かな こういち 嘉名 光市	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授	
きむら れお 木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授	
こにし はなこ 小西 華子	竹林・畑・中川・福島法律事務所 弁護士	○
【委員長】 こばやし きよし 小林 潔司	京都大学 名誉教授 京都大学 経営管理大学院 特任教授	○
ただ のりこ 多田 稔子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事・会長	○
まきむら ひきこ 槇村 久子	京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員	○

□対象事業

- 一般国道178号 城崎道路

□議事概要（各委員からの意見）

【一般国道178号 城崎道路】

- 山陰近畿自動車道にはミッシングリンクが残っており、救急医療施設へのアクセス強化を考えると、一刻も早く全線をネットワークとして繋げるべき。この観点から、費用便益分析をこの区間単独ではなく、適切なネットワーク区間を設定し、一体評価することは妥当。
- 過去に災害で被災した地域であり、防災拠点間を結ぶという意味でも整備が必要。
- 救命救急、広域観光振興においても非常に整備効果の高い道路だと認識している。技術的な課題があるため国による権限代行で道路の整備を進めていただきたい。
- 観光振興のためには、当該道路だけでなく周辺の道路事業やアクセス道路も含めて観光ルートとして整備する事が重要。
- この地域の、兵庫県が実施する他の事業では、法面崩壊等が発生している。開通後に法面崩壊が起これば社会的損失が大きい。ため、令和元年の品確法改正で位置づけられたとおり、調査・設計の品質確保が必要。
- 便益の算出について、今後のEVや自動運転車の普及といった車両技術の進化も含めた手法の検討を進めてほしい。

□結論

一般国道178号 城崎道路

の新規事業化については妥当である。